

第19期 2016年度

JASDAQ
4304

本資料の内容については、現在入手可能な情報から説明しておりますが、事業環境が大きく変動すること考えられます。投資のご判断の際には、本資料に併せて、有価証券報告書などの法定開示書類をご参考にして下さいますよう、お願い申し上げます。なお、閲読性を考慮し、掲載されている取引先様の機関名、会社名など敬称を省略させて頂いております。

The logo for Estore, featuring the word "Estore" in a bold, white, sans-serif font. Above the "E" is a stylized graphic of three horizontal bars. Above the "store" is a smaller, white, sans-serif font that reads "E-STORE MARKETPLACE". The logo is set against a dark blue background.

平成29年3月期 決算説明資料

平成29年5月11日

株式会社Eストアー

平成29年3月期 決算説明資料

決算概要 **1**

補足情報 **2**

今後の施策 **3**

	通期実績	対前年比(%)	対前年増減額
売上高	4,775	102%	+115
ストック	1,967	96%	ⓑ Δ80
フロウ	1,967	ⓒ 103%	+52
マーケティング	788	132%	Ⓐ +192
メディア	54	52%	Δ49
営業利益	407	Ⓓ 65%	Δ222
経常利益	402	64%	Δ227
当期純利益	286	68%	Δ135

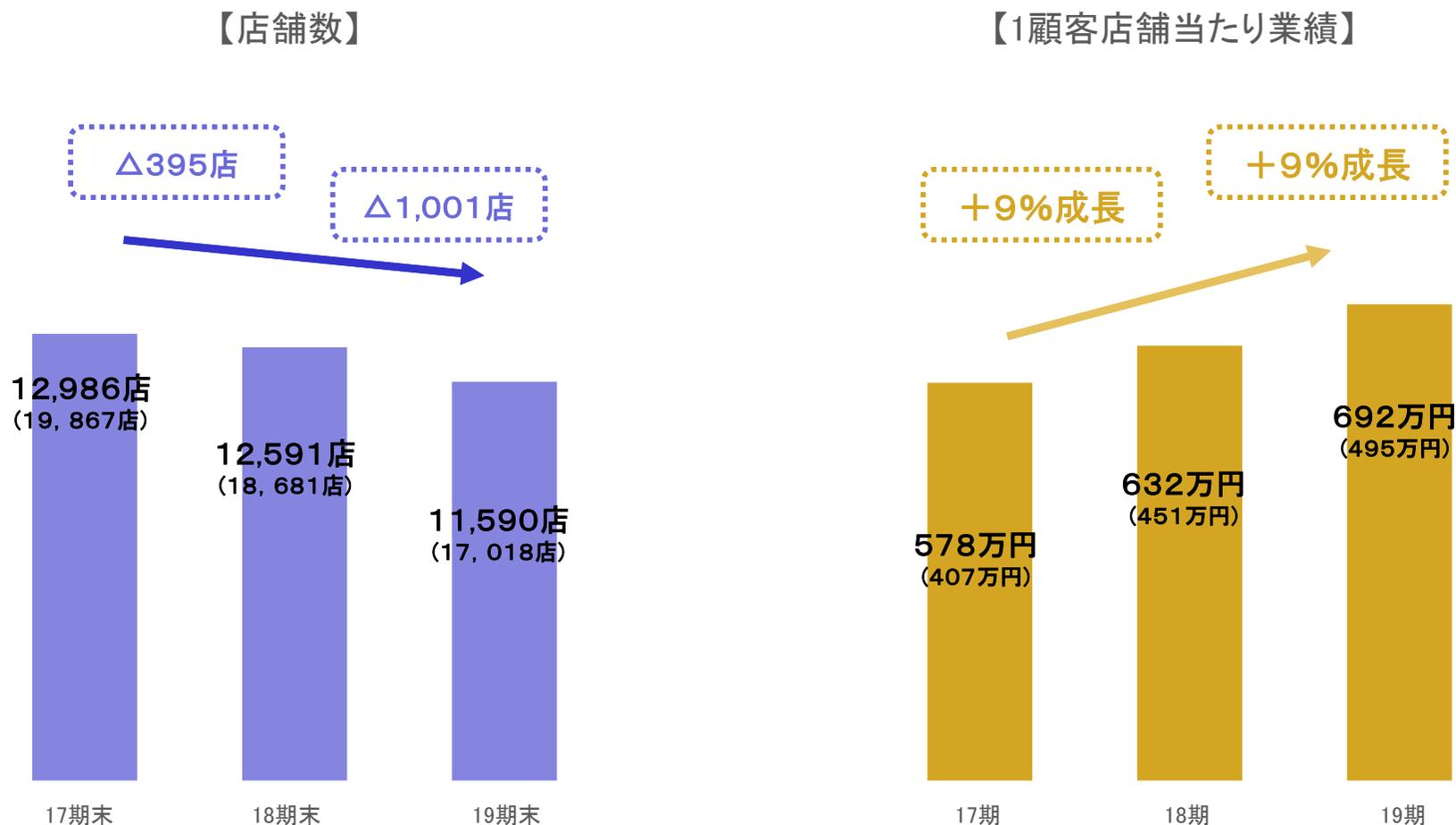
※ 単位百万円、表示桁数未満を四捨五入

■ 事業テーマである「EC強化と人手不足を一気に解決」

その実現に向けた事業シフトに本年度は大きく投資

- ▶ 結果、マーケティング売上 伸長、ただし十分にあるマーケティングニーズに対応できる体制は不十分 A
- ▶ スtock売上、システム市場 過当競争で全体の顧客店舗数は減少、優良顧客店舗は増加(計画に織り込んでいる想定どおり) B
- ▶ フロウ売上、全体の顧客店舗数は減少するも、1顧客店舗当たりの売上は伸長し、売上は微増 C
- ▶ 体制強化に必要な人員増による人件費の増加、EC全般を総合的に支援する企業としてのブランディング支出、原価率の高いマーケティング売上比率の増加による費用増で減益
※これが期初から計画している意図した減益 D

優良顧客獲得への偏重、販売支援を行った結果 顧客店舗数は減少、顧客店舗業績増大へ

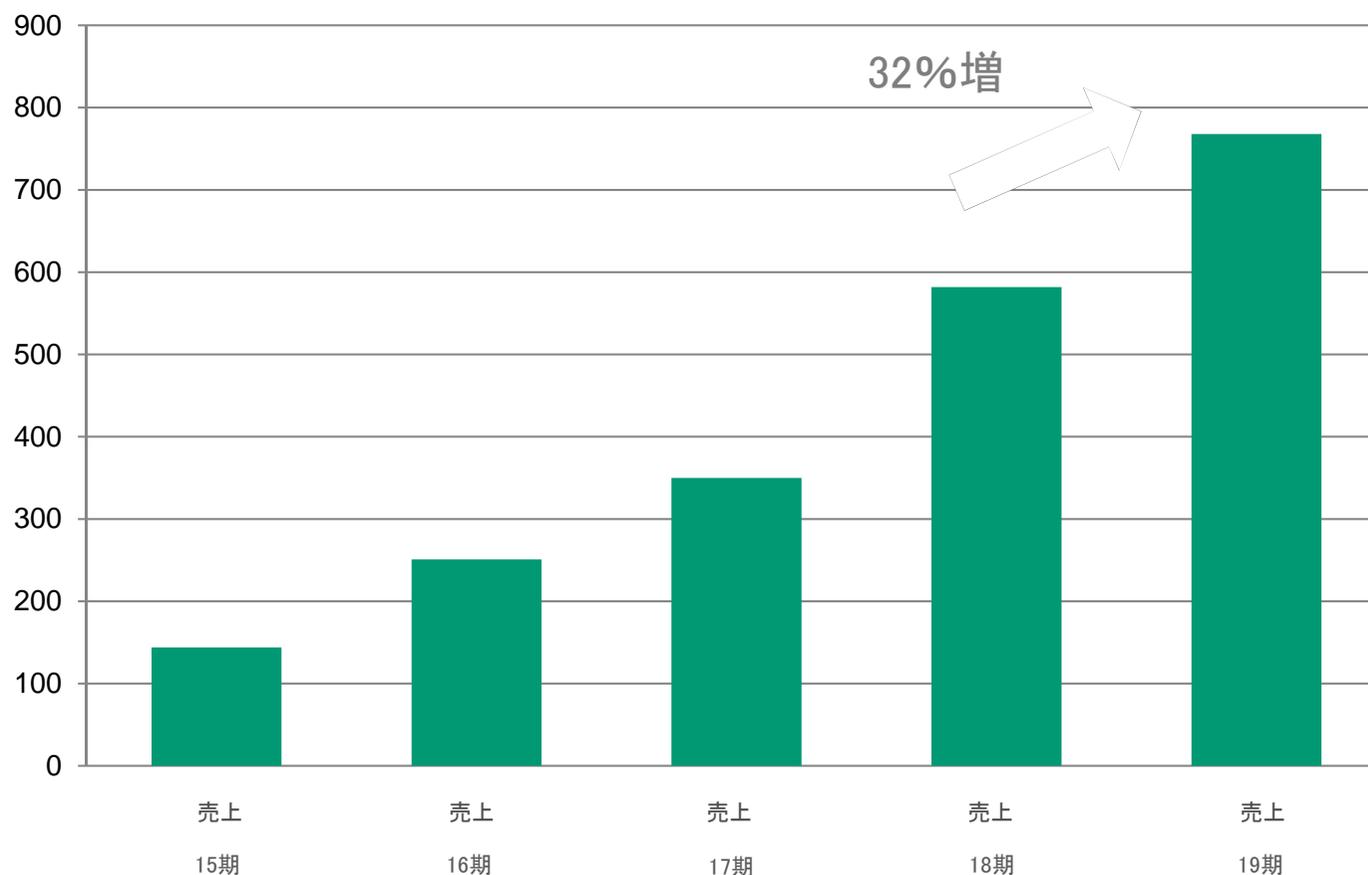


※ 数値は、メインサービスのショップサーブ(大口店舗除く)となります
 ※ カッコ内の数値は事業全体となります

※ 表示桁数未滿を四捨五入しています。

マーケティングの成長が顕著に ニーズに対する体制が不十分、体制強化を図る

[百万円]



平成29年3月期 決算説明資料

決算概要

1

補足情報

2

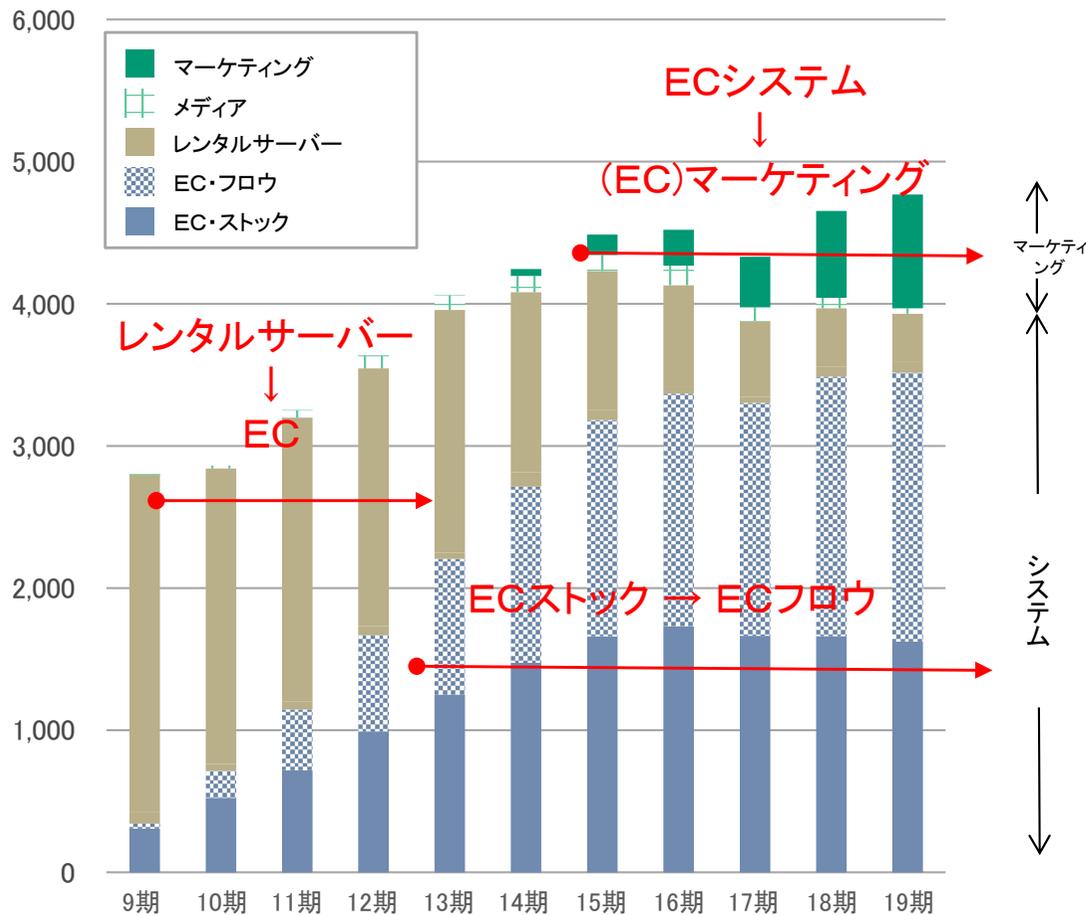
今後の施策

3

顧客ニーズの変化に伴い、 過去より事業シフトで成長を続けている

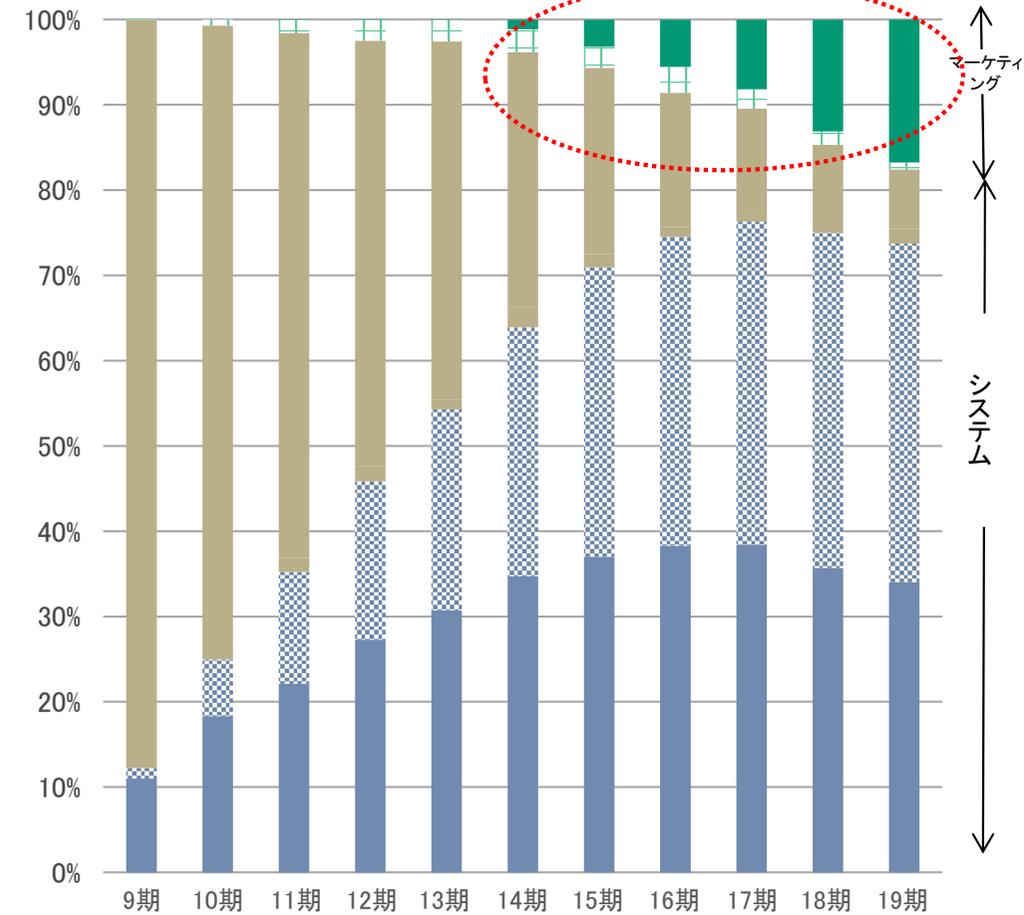
【売上高と構成】

[百万円]



【売上高の構成比】

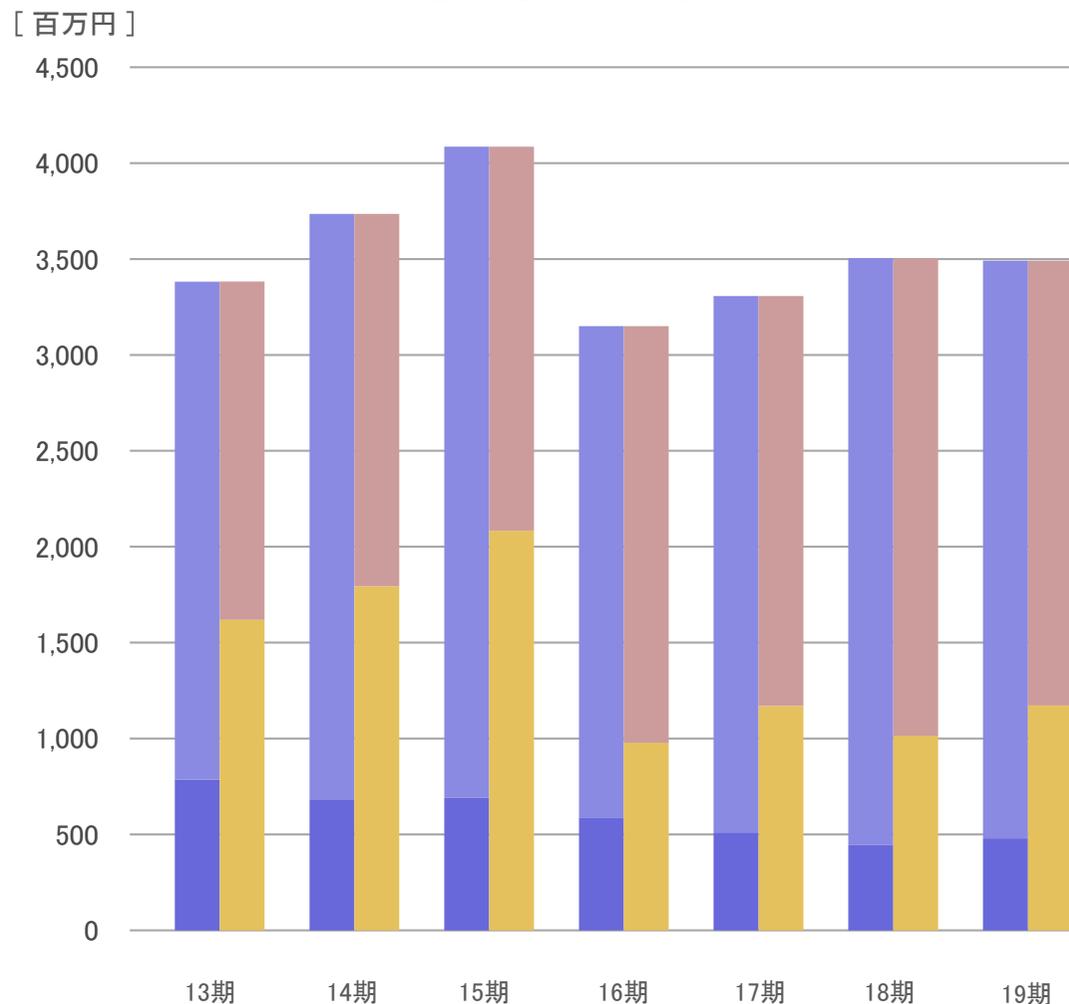
[%]



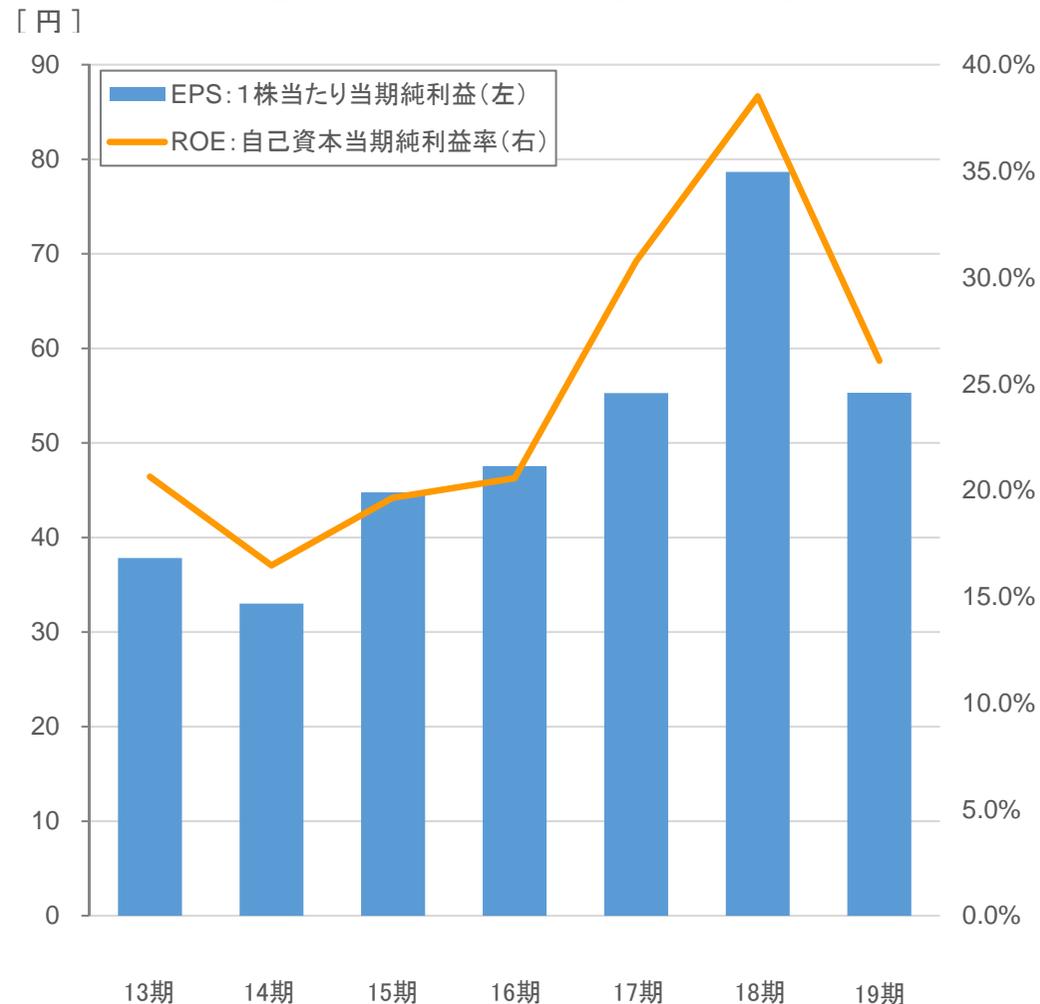
※ 表示桁数未満を四捨五入しています。

将来の利益拡大を目的に意図した減益のため 1株当たり当期純利益、ROEともに前年度に比べ低下

【 貸借対照表 】

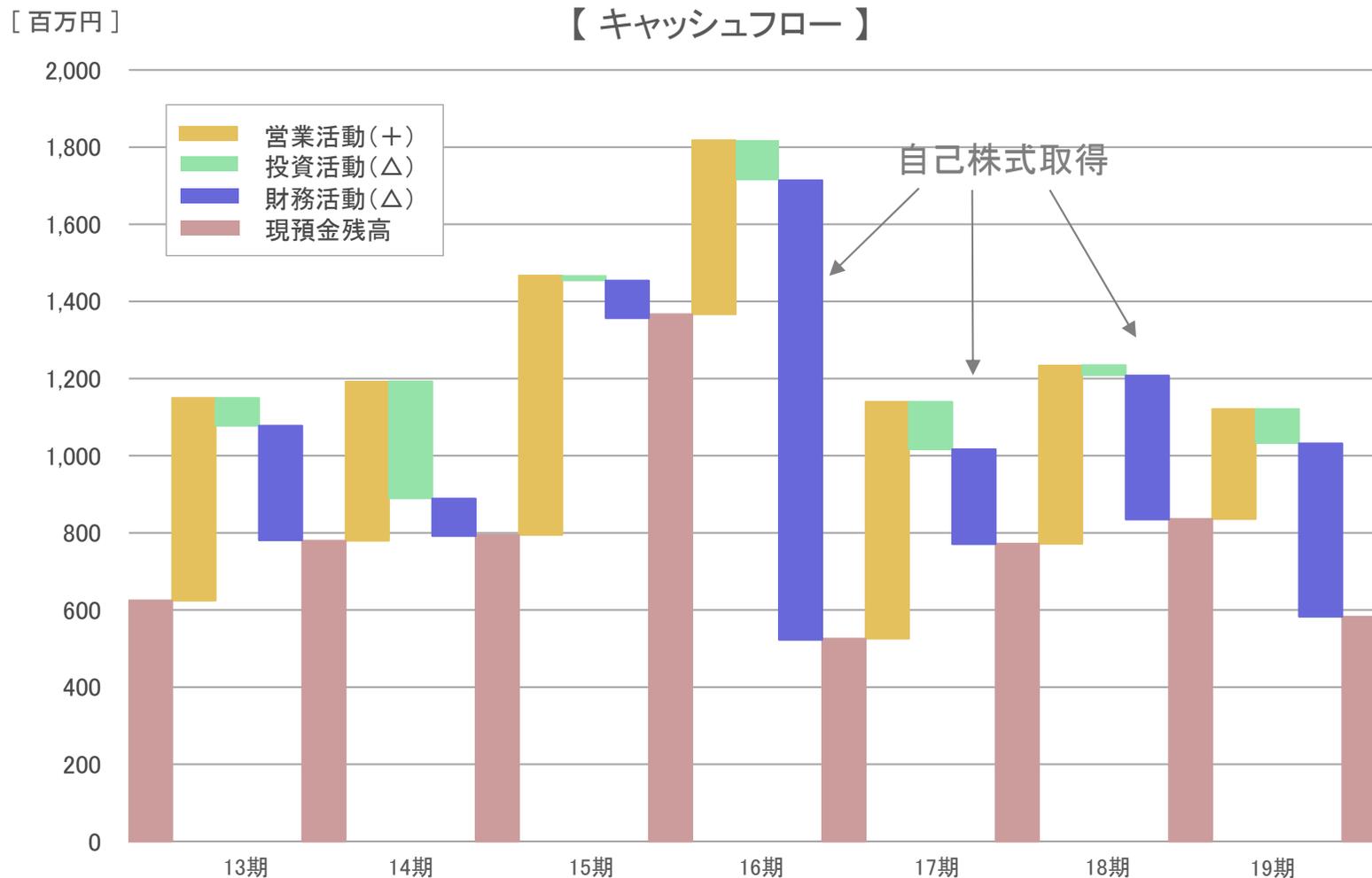


【 1株当たり当期純利益・ROE 】



※ 表示桁数未満を四捨五入しています。

法人税等や配当金の支払、借入金の返済するも、 キャッシュは比較的潤沢。



※ 当事業年度において、影響排除した「顧客預り金」は 1,729百万円 になります。
 また、当期間以前においても、「顧客預り金」と「定期預金」の影響を排除しております。
 ※ 表示桁数未満を四捨五入しています

平成29年3月期 決算説明資料

決算概要

1

補足情報

2

今後の施策

3

顧客ニーズに応え顧客売上高増を図る

■ マーケティングサービスへの傾注

- ▶ 営業の拡大(量ではなく質を追求)
ECでのポテンシャルが見込める優良顧客の獲得
- ▶ 人員の育成強化

■ 通販システム開発強化

- ▶ スマホ向け機能改善、定期購入とリピート機能向上、
回遊転換の向上